

明治何年度

經常部(臨時部)縣稅收入計算書

所 名

第十三號書式

備考  
 一 經常部ト臨時部ハ別冊ニ調製スルモノトス  
 一 用紙ハ美濃礬砂引紙ヲ用ヘ袋綴トス

摘要	豫算額			徴收済額			差 引		備 考
	同	左	右	同	左	右	超過額	減少額	
何々(款)									
何々(項)									
何々(目)	0			0			0	0	何々ニヨリ増加ス
何々(目)	0			0			0	0	何々ニヨリ減ス
何々(目)	0			0			0	0	何々ニヨリ増加ス
項合計	0			0			0	0	
何々(項)									
何々(目)	0			0			0	0	何々ニヨリ増加ス
何々(目)	0			0			0	0	何々ニヨリ同上
項合計	0			0			0	0	
何々(項)									
何々(目)	0			0			0	0	何々何々ニヨリ減ス
項合計	0			0			0	0	
款合計	0			0			0	0	

第十四號書式 (用紙美濃野紙)

備考

臨時部モ此式ニ倣ヘ別冊ニ調製スルモノトス

〇ハ朱書

紙 表

明治何年度經常部縣稅收入精算書  
何郡役所

明治何年度縣稅收入精算書

地租割

但地租割算高金若干地租割ニ付金若干

掛出過不足

不納者公賣處分損失

營業稅

不納者公賣處分損失

商業稅

一金

○(外)金若干  
○(內)金若干  
○外金若干

一金

內 金

內 譯

金

○外金

內

金

○外金

○以下倣之

金

金

金

金

金

金

金

金

金

金

金

金

金

金

金

會社稅

不納者公賣處分損失

何等一社課額若干計何社

不納者公賣處分損失

何等一社課額若干計何社

陸運業稅

何々

何々

何等一戶課額若干計何戶

何々

何々

何々

何々

何々

何々

何々

何々

何々

何々

何々

何々

何々

何々

何々

何々

何々

何々

何々

何々

何々

內〔木賃宿牛馬宿  
併算スヘシ〕

宿屋稅

何々

何々

何々

何々

何々

何々

何々

何々

何々



明治何年度何々(款)支出計算書面之通  
相違無之候也

明治何年何月何日

所長官氏名印

知事宛

合計金  
○外金

内譯

金 金 金 金 金 金 金 金

外金

不納者公賣處分損失

地租割

○不納者公賣處分損失

營業稅

雜種稅

營業稅附加稅

戸數割

何々々

書面之通相違無之候也

年月日

知事宛

郡長氏名印

預算額	增		減		現預算額	科目
	增額	流用增	減額	流用減		
100,000				15,000	85,000	應 費
120,000		25,000			145,000	備 品
250,000				10,000	240,000	消耗品
15,000					15,000	郵便稅
15,000					15,000	電信料
						運送費
						賄 費
25,000					25,000	宿直助料 18,250
0	3,500				3,500	夜勤助料 3,800
525,000	3,500	25,000	0	25,000	528,500	雜 費
						項合計
3,060,000	53,500	30,000	0	30,000	3,113,500	總 計

支出額	預算不用額	計	備 考
7800 0	700 0	8500 0	
14480 0	020 0	14500 0	
23500 0	500 0	24000 0	
1500 0	0	1500 0	
1420 0	080 0	1500 0	
2205 0	295 0	2500 0	
350 0	0 0	350 0	
51255 0	1595 0	52850 0	
3,051 05 0	6245 0	3,113 50 0	

豫算額	増				減				現豫算額	科目
	増額		流用増		減額		流用減			
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭		
2,050,000	0	0	0	0	500,000	0	0	2,045,000	経費 俸給 郡書記給 郡書記1,500,000 備員 500,000	
2,060,000	0	0	0	0	500,000	0	0	5,204,000	項合計	
200,000	0	5,000	0	0	0	0	0	205,000	雑給 旅費 惠與 退官賜金 50,000 死亡賜金150,000	
100,000	50,000	0	0	0	0	0	0	150,000	給仕給	
36,000	0	0	0	0	0	0	0	36,000	小使給	
89,000	0	0	0	0	0	0	0	39,000	爲替方給	
100,000	0	0	0	0	0	0	0	100,000	臨時備人足費	
10,000	0	0	0	0	0	0	0	10,000		
485,000	50,000	5,000	0	0	0	0	0	540,000	項合計	

支出額	豫算不用額	計	事由
円	銭	円	銭
2,000,000	45,000	2,045,000	何々何々
2,000,000	45,000	2,045,000	事由ハ豫算外ニ生シタル事件及著シク多額ヲ要シタルモノ又ハ著シク支出ヲ要セザルモノヲ詳細ニ向豫算ノ増減セシ理由其月日番號并ニ流用増減セシ理由等各自共ニ詳記スヘシ
205,000	0	205,000	
150,000	0	150,000	
35,500	0	36,000	
39,000	0	39,000	
100,000	0	100,000	
9,000	1,000	540,000	
538,500	1,500	540,000	

# 縣金庫事務規程書式

第十五號書式

明治何年度何令(款)

支出計算書

用紙礬砂引美濃紙  
各款別へ調製スヘシ

所 名

年月日		摘要	出張店 收支年月日	
明治	何年		明治	何年
何	何	何警察署外何ヶ所収入	何	何
		何郡役所外何ヶ所支出		何
		本店ヨリ回送		
(何)		[誤納下戻縣廳仕拂命令ニテ]		
(ク)		[何郡役所返納告知書ニテ定額戻入]		
		何月分合計		
		(下戻及戻入扣除)		
		何月分純合計		
		累 計		

借		貸		殘
各應受	回送受	各應拂	回送拂	
円	銭	円	銭	円
850	000			
		500	000	80000
			1,500	000
(150)				1,580
				000
		(100)		1,578
				500
580	000	1,500	000	
(150)				
578	500	1,500	000	499
				000
0		0		0



年月日		摘要	出張店 收支年月日	
明治 何	何年 何 月 何		明治 何	何年 何
		何郡役所外何ヶ所収入		
		何郡役所外何ヶ所支出		
		本店へ回送		
		何月分合計		
		累計		

借		貸		残高	
各應受	回送受	各應拂	回送拂	月	日
10,000,000		150,000		10,000,000	
			8,000,000	9,850,000	
10,000,000		150,000	8,000,000	1,350,000	
	0	0	0		

本 金 庫				
年 月 日		摘 要	出 張 店	
明治	何年		収支年月日	何年
	何	縣廳外何ヶ所分		
	何	何郡役所外何ヶ所分		
	何	何警察署外何ヶ所収入		
	何	本日本支出=更正		
	(何)	(何郡役所戻入ノ分)		
	(何)	(戻入ノ分本受=更正)		

假 支 出											
借					貸						
各 廳 受			回送受		各 廳 拂			回送拂		残 高	
明治	何年	何	明治	何年	明治	何年	何	明治	何年	明治	何年
							130000				
							500000				630000
							120000				750000
		130000									620000
		(1000)									621000
							(1000)				620000



年 月 日		摘 要	出張店 收支年月日	
明治	何年		明治	何年
	何	假収入ヨリ更正		
	ク	假支出ヨリ更正		
	何	某出張店ヨリ回送		
	何	某出張店へ回送		
	何	假収入ヨリ更正		
	(何)	(誤納下戻金假収入ヨリ更正)		
	(ク)	(何廳戻入ノ分假支出ヨリ)		
		何月分合計		
		(下戻高及戻入高扣除)		
		純合計		
		累 計		

借		貸		残
各應受	回送受	各應拂	回送拂	
月 日 金	月 日 金	月 日 金	月 日 金	月 日 金
17,800				17,800
		130		17,670
	800			18,470
			1,500	16,970
20,000				36,970
		150		36,998
(100)				36,969
37,800	800	130	1,500	
(150)		(100)		
37,798	800	129	1,500	
	0	0	0	

年月日		摘要	送		残
明治	何年		借	貸	
何	何	某出張店ヨリ受入 某出張店へ		800,000	800,000
	ク		1,500,000		(700,000)

現金出納原簿

第貳號書式

備考

- 一 縣金庫ニ於テ收支スルモノハ一旦假收入假支出ノ座ニ記入シ置キ甲乙帳ノ預ケ及拂トナリタルトキ縣金庫ノ坐ニ更正シテ本收支トス
- 一 但縣應ヨリ甲乙帳ニ記入シテ預ケ入トナスモノハ直ニ縣金庫ノ口坐ニ記載スヘシ
- 一 各支金庫ノ口坐ハ甲乙帳ヲ以テ預ケ及支拂ノトキニ於テ記載スヘシ
- 一 本簿ハ毎月合計ヲ付シ二ヶ月以後ヨリハ尙累計ヲ附スヘシ
- 一 但假收入支出ノ口坐ハ月計累計ヲ附スルヲ要セス

福島縣 第何縣金庫

何 廳 小學校教員恩給基金									
年月日		摘 要	借		貸		残		
明治	何年		円	銭	円	銭	円	銭	
何	何	納付書何枚ニテ			150	000	150	000	

縣 廳 直 受 金									
年月日		摘 要	借		貸		残		
明治	何年		円	銭	円	銭	円	銭	
何	何	前年度ヨリ繰越 告知書何枚ニテ			10,000	000	10,000	000	
ク					1,850	000	1,850	000	

年月日		摘要	借		貸		殘	
明治	何年		円	銭	円	銭	円	銭
	何	令書何枚ニテ			5,000	000	5,000	000
	何	令書何枚ニテ			24,000	000	29,000	000
	(何)	(誤納下戻何某渡)	(1,500)				28,998	500
	何	告知書何枚ニテ			1,299	500	30,298	000

年月日		摘要	借		貸		殘	
明治	何年		円	銭	円	銭	円	銭
	何	告知書何枚ニテ			800	000	800	000
	何	同 何枚ニテ			500	000	1,300	000
	(何)	(何月何日收入内計算)						
		(違ノ分更正)			(0,500)		-1,299	500

年月日		摘要	仕拂通達額		案内命令受高		未整理高	
明治何年	何	何	円	銭	円	銭	円	銭
	何	仕拂通達第何號	120	000			120	000
	何	同上第何號	50	000			170	000
	何	案内書何枚ニテ			120	000	50	000
		何月分合計	170	000	120	000		
		累計	0		0		0	

何 應 營 繕 費

歲 入 金	
各 應 内 課 簿	
<p>福島縣第何縣金庫</p> <p>(又ハ)何地支金庫</p>	

第三號書式 備考

一本簿ハ各所ヲ區分シ口坐ヲ記ケ記入スヘシ  
 一收入ハ每一日ノ合計ヲ以テ本簿ニ記入スルヲ以  
 テ令書及告知書ハ其區分ニヨリ合綴シ表紙ニ金  
 額枚數ヲ記シテ保存スヘシ



歳 出 金	
<u>各廳仕拂通達差引額</u>	
<u>福島縣第何縣金庫</u>	
<u>何 地 支 庫 金</u>	

第四號書式

備考

一本簿ハ各所ヲ區分シテ口坐ヲ設ケ記入スヘシ  
 一各廳經費ハ月毎ニ區分シ其他ハ月計累計ヲ付スル  
 ニ止メ一周年度ヲ累記スヘシ

年 月 日		摘 要	仕拂通達額		案内命令受高		未 整 理 高	
			円	銭	円	銭	円	銭
明治何年	何月何日	仕拂通達第何號	450	000			450	000
		案内書何枚ニテ			130	000	320	000
		同 何枚ニテ			70	000	250	000
		(定額戻入併 知書第何號)			(100)		251	000
		合 計	450	000	200	000		
		(定額戻入扣除)			(100)			
		純 合 計	450	000	199	000		
		仕拂殘翌月へ越高			251	000	0	

年月日		摘要	案內書領收高		現金仕拂高		未拂高	
明治	何年		円	銭	円	銭	円	銭
		案内書何枚ニテ					120	000
		仕拂切符何枚ニテ	120	000	120	000	0	
		何月分計	120	000	120	000		
		累計	0		0			

年月日		摘要	案内書領收高		現金仕拂高		未拂高	
明治	何年		円	銭	円	銭	円	銭
		案内書何枚	500	000			500	000
		同 何枚	50	000			550	000
		仕拂切符何枚ニテ			500	000	500	000
		何月分計	550	000	500	000		
		累計	0		0			

歲 出 金	
各 廳 內 譯 簿	
福 島 縣 第 何 縣 金 庫	
(又ハ) 何 地 支 金 庫	

第五號書式

備考

一本簿ハ各所ヲ區分シ口坐ヲ設ケ記入スヘシ  
 一各廳經費ハ月別ニナスニ及ハス總テ月計累  
 計ヲ付スヘシ

何 廳 經 費					
年 月 日		摘 要	案 內 書 領 收 高	現 金 支 拂 高	未 拂 高
明 治	何 年		円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘
何	何	案内書何枚	130000		130000
	何	仕拂切符何枚ニテ		120000	10000
	ク	案内書何枚	70000		80000
	ク	仕拂切符何枚ニテ		10000	70000
	〔何〕	〔戻入告知書第何號〕	〔1000〕	〔1000〕	
		何月分計	200000	130000	
		〔戻入扣除高〕	〔1000〕	〔1000〕	
		純合計	199000	129000	
		累 計	0	0	

現金受拂簿

福島縣第何縣金庫

(又ハ) 何地支金庫

第六號書式

備考

一 備荒儲蓄金及雜部金ハ本書式ニ準シ備荒儲蓄金受拂簿雜部金受拂簿ヲ各別ニ調製シ其受拂ヲ記入スヘシ

年月日		摘要	受	拂	残
治別	年何		円	銭	銭
何	何	縣稅何某外何人ヨリ受	5,800	000	
	ク	同何某ヨリ受	12,000	000	17,800 000
	ク	經費外何件仕拂		130 000	
	ク	同上		500 000	17,170 000
何	何	縣稅何外何件何某ヨリ受	24,499	500	
	ク	經費及營繕費支拂		120 000	41,549 500
何	何	誤納下戻何某拂		150	
	ク	戻入高何某納	1000		41,549 000

明治何年何月何日稅

明治何年度稅金日表 第何號 甲				明治何年度稅 第何號			
應 名	金 員			應	金 員		
	円	錢	厘		円	錢	厘
何郡役所經常部縣稅	15,000	00	0	何郡役所經常部縣			
同 臨時部縣稅	2,200	00	0	同 臨時部縣			
同 恩給基金	200	00	0	同 恩給基			
何警察署臨時部縣稅	100	00	0	何警察署臨時部縣			
何 學校臨時部縣稅	300	00	0	何 學校臨時部縣			
何 々	0			何 々			
	17,800	00	0				

明治何年何月  
相違無之候也  
福島縣第何  
(又ハ)何地

金領收日計表

金日表 乙				明治何年度稅金日表 第何號 丙			
名	金 員			應 名	金 員		
	円	錢	厘		円	錢	厘
稅	15,000	00	0	何郡役所經常部縣稅	15,000	00	0
稅	2,200	00	0	同 臨時部縣稅	2,200	00	0
金	200	00	0	同 恩給基金	200	00	0
稅	100	00	0	何警察署臨時部縣稅	100	00	0
稅	300	00	0	何 學校臨時部縣稅	300	00	0
	0			何 々	0		
	17,800	00	0		17,800	00	0

明治何年何月何日稅金領收高  
相違無之候也  
福島縣第何縣金庫  
(又ハ)何地支金庫

第七號書式

備考  
一用紙鑿砂引美濃紙  
一丙號右側曲尺壹寸餘ノ餘白ヲ要ス

某年度歲入金  
甲第何號 明治何年何月中月計對照表

應名及科目	本月中			前月迄累計			合計		
	千	百	圓	千	百	圓	千	百	圓
何 應 縣 稅 〔更正拂〕	29,000	00	0	0			29,000	00	0
改合計	28,990	00	0	0			28,990	00	0

書面之通相違無之候也  
 明治何年何月何日  
 福島第何縣金庫(又ハ)何地支金庫  
 各廳長官氏名宛

割印

割印

備考  
一縣稅ヨリ仕拂切符ヲ發シタルモノハ總テ此乙號ニヨル

某年度歲入金  
乙第何號 明治何年何月中月計對照表

應名及科目	本月分			前月迄累計			合計		
	千	百	圓	千	百	圓	千	百	圓
何 應 縣 稅 〔更正拂〕	29,000	00	0	0			29,000	00	0
改合計	28,990	00	0	0			28,990	00	0

前書之通相違無之依テ証明有之度候也  
 明治何年何月何日  
 福島縣第何縣金庫(又ハ)何地支金庫  
 書面之金額調査候處相違無之ニ付証明候也  
 明治何年何月何日  
 各廳長官氏名宛

縣金庫

長各廳

〔是ヨリ以下ハ各廳ニ於テ記載スルモノナリ〕

第八號書式

備考  
一本書ハ縣稅、臨時部縣稅、小學校教員恩給基金等各別ニ調製ス

某 年 度  
明治何年何月何日現金仕拂高表

應 名	仕 拂 高			戻 入 高			差 引 金 仕 拂 高		
	千	百	十	千	百	十	千	百	十
何郡役所経費及營繕費	5	00	00						
(誤謬更正受)									
改仕拂高		4	90					4	90
何警察署経費及營繕費	1	00	00						
誤謬更正拂									
改仕拂高		1	10						
(定額戻入)									
何學校経費及營繕費		3	00						
合 計	6	30	00		2	00		6	10

(此處八分金ノ繰代ナ存置スヘシ)

右仕拂高相違無之ニ付及報告候也  
 明治 年 月 日  
 福島縣第何金庫何地支金庫 印  
 福島縣内務部第四課長宛

第九號書式ノ甲  
 (用紙半紙ニツ切)  
 備考  
 一本表ハ毎日調製スルモノナレトモ月末ニ至リタルトキハ一日ニテモ調製シ翌月分チ併記スヘカラス  
 二誤謬更正受入ノ爲メ現仕拂高ヨリ受入高多額ナルトキハ改仕拂高ニ於テモ其金額ヲ朱記スルモノトス  
 但差引仕拂高ニ於テモ其金額ヲ朱記スルモノトス

某 年 度  
明治何年何月何日現金支拂高表

應 名	仕 拂 高			戻 入 高			差 引 金 仕 拂 高		
	千	百	十	千	百	十	千	百	十
縣廳直接経費	7	50	00						
合 計	7	50	00						

二本表ヲ以テ預ケ帳ノ受取ニ立ツルヲ以テ違算等ナキ様最モ注意スヘシ

右仕拂高相違無之ニ付仕拂切符何枚相添及報告候也  
 明治 年 月 日  
 福島縣第何縣金庫(又ハ)何地支金庫 印  
 福島縣内務部第四課長宛

第九號書式ノ乙  
 二備荒儲蓄ニシテ縣廳ヨリ仕拂切符ヲ發シタルモノハ此例ニヨリ應名ノ區ニ備荒儲蓄トシテ提出スヘシ

年度歲出金 何年何月中月計對照表							乙第何號
領濟額		現金仕拂濟額			未拂額	摘要	
合計	本月分	前月迄累計	合計				
円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘		
20000 0 (100 0)	13000 0 (100 0)	0	13000 0 (100 0)	70000		何郡役所經費 (定額戻入)	
12900 0	12900 0	0	12900 0			改計	
12000 0	12000 0	0	12000 0	0		何郡役所營繕費	
31900 0	24900 0	(0)	24900 0	70000		合計	

候也  
何月何日  
縣第何縣金庫(又ハ)何地支金庫  
名宛

割 縣金庫印

割 各廳長印

(是ヨリ以下各廳ノ於テ記載スルモ)

某年度歲出金 何廳 明治何年何月中月計對照表							第十號書式
案內仕拂切符受領濟額			現金仕拂濟額			未拂額	
合計	本月分	前月迄累計	合計	本月分	前月迄累計		
円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	
200000	130000	0	200000	130000	0	70000	
(1000)	(1000)		(1000)	(1000)			
199000	129000	0	199000	129000	0		
120000	120000	0	120000	120000	0	0	
319000	249000	0	319000	249000	0	70000	

書面之通相違無之依テ証明有之度候也  
明治何年何月何日  
福島縣第何縣金庫(又ハ)何地支金庫  
何廳長官氏名宛

書面之金額調査候處相違無之ニ付證明候也  
明治何年何月何日  
何廳長官氏名宛



某 年 度 第十一號書式  
借 方 明治何年何月何日計算表 貸 方

科 目	金 員	科 目	金 員
現 金	40,849.00	何郡役所經常部縣稅	28,998.50
何郡役所經費	129.00	ク 臨時部縣稅	1,299.50
ク 營繕費	12.00	ク 恩給基金	150.00
ク 縣廳直接經費	500.00	何警察署臨時部縣稅	0
何 警察署經費	0	何 學校臨時部縣稅	0
ク 營繕費	0	縣廳直受金	11,850.00
何 學校經費	0		
回 送	700.00		
<b>合 計</b>	<b>42,298.00</b>	<b>合 計</b>	<b>42,298.00</b>

福島縣第何縣金庫(又ハ)何地支金庫

備 考

ノ高加假請ルノ本ノ依簿高課及廳本考  
トチナヘ収本ハ員店トリノ并簿歲內表  
ス掲扣假入店現額ニス調現ニノ出譯ハ  
出除支ノノ金ヲ於製在現現金ノ入  
スヲ出殘殘出掲テスル高受仕廳殘金  
ルタノ高納上現スモニ拂拂內金各  
モル殘ヲニ原ス金

甲第何號 某 何 應 明 治

摘 要	案內仕拂切符受	
	本月分	前月迄累計
何郡役所經費	200.00	0
(定額戻入)	(1.00)	
改 計	199.00	0
何郡役所營繕費	120.00	0
合 計	319.00	0

備 考

一 本表ハ經費ト營繕費ト一表ト  
縣廳直接經費ハ別表トシ内務部  
第四課長宛ニ開製シ提出スルモ  
ノトス  
一 備蓄金及雜部金ハ本表ニ準  
シ某年度歳出金トアルヲ備蓄  
蓄金某年度歳出金トアルヲ備蓄  
切符受額高トアルヲ受入高ト  
切符表ニ調製シ各所長ノ證明  
ヲ受テ毎月縣廳ニ提出スベシ

書面之通相違無之  
明治何年  
福島  
何廳長官氏

千二十二

某年度 明治何年何月									
科 目	收入高		假收入高		回送受高		計		
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	銭
本 金 庫	37,798	500	4,499	500	800	000	43,098	000	
某 支 金 庫	10,000	000	0		0		10,000	000	
某 支 金 庫	578	500	0		1,500	000	2,078	500	
某 支 金 庫	0		0		0		0		
某 支 金 庫	0		0		0		0		
	48,377	000	4,499	500	2,300	000	55,176	500	

現金出納原簿月計表 第十二號書式									
支 出 高	假支出高		回送拂高		計	差引現在高			
	円	銭	円	銭		円	銭	銭	銭
129	000	620	000	1,500	000	2,249	000	40,849	000
150	000	0		800	000	950	000	9,050	000
499	000	0		0		499	000	1,579	500
0		0		0		0		0	
0		0		0		0		0	
778	000	620	000	2,300	000	3,698	000	51,476	500

明治何年何月何日  
 福島縣第何縣金庫 印  
 福島縣知事 宛

○縣稅賦課ヲ受クヘキ地租戶數調ノ件  
訓令甲第十一號 (明治三十一年三月四日)

郡役所  
町村役場

每年四月一日及十月一日現在ヲ以テ縣稅賦課ヲ受クヘキモノ並ニ免除ニ係ル地租戶數ヲ取調書式別紙ニ依リ町村長ハ其月五日以内ニ郡長ニ郡市長ハ其月十日限リ當廳ヘ報告スヘシ

但明治二十四年八月雜甲第四十二號ハ廢止ス  
(別紙書式)

明治何年四月一日現在地租戶數報告

市町村名	地租	
	賦課ヲ受クヘキモノ	免除ニ係ルモノ
町村名	賦課ヲ受クヘキ者	免除スヘキモノニシテ 官ノ救濟ヲ受クルモノ
合計		免除スヘキモノニシテ 老臘ヲ養フモノ

合計

外

(開墾地其他新道移住民ノ如キ縣令ノ規定ニヨリ免除ニ係ル戶數ハ外書ニ記載スヘシ)

何村開墾地  
何々新道  
右及報告候也

年月日

何郡市長 氏 名印

知事宛

○縣稅歲入科目ノ件  
訓令甲第十八號 (明治三十一年三月二十七日)

知事官房	内務部
警察部	監獄署
師範學校	尋常中學校
蠶業學校	農事試驗場
郡市役所	警察署
警察分署	監獄支署

縣稅歲入科目左ノ通相定ム  
但明治三十年度ヨリ施行ス

福島縣歲入科目表

經常部		目	節
第一款	地租割	第一項	地租割
第二款	營業稅	第一項	商業稅
第二款	工業稅	第一項	工業稅
			會社稅
			陸運業稅
			回漕業稅
			卸賣商稅
			仲買商稅
			小賣商稅
			行商稅
			雜商稅
			家屋稅
			宿屋稅
			藝妓屋稅
			兩換屋稅
			質屋稅
			金貸業稅
			穀貸業稅
			牛馬賣買業稅

經常部		目	節
第三款	雜種稅	第一項	料理屋稅
		第二項	待合茶屋稅
		第三項	飲食店稅
		第四項	湯屋稅
		第五項	理髮人稅
		第六項	遊藝師匠稅
		第七項	遊藝移入稅
		第八項	相撲稅
		第九項	俳優稅
		第十項	藝妓稅
		第十項	演劇稅
		第十項	興業稅
			製造所稅
			染物屋稅
			職工稅

第五款 戶數割		第一項 戶數割	第一目 附營業稅
第六款 財產收入		第一項 不動產收入	第一目 戶數割
第七款 國庫下渡金		第一項 警察金	第一目 警察費連帶支辨金
		第二項 在府縣獄囚徒費	第一目 囚徒在監費
		第二項 請願巡査費納付金	第一目 某銀行納付金
		第二項 懲罰金及沒收金	第一目 罰俸
			第二目 沒收金
第八款 雜收入			

第四款 附營業稅		第一項 附營業稅	第一目 興業稅
		第三項 西洋形船稅	第一目 遊覽所稅
		第二項 日本形船稅	第一目 遊技場稅
		第二項 採藻稅	第一目 人寄席稅
		第二項 漁業稅	第一目 船稅
		第十九項 屠畜稅	第一目 車稅
		第六項 水車稅	第一目 水車稅
		第十七項 人寄席稅	第一目 人寄席稅
		第六項 船稅	第一目 船稅
		第七項 車稅	第一目 車稅
		第六項 水車稅	第一目 水車稅
		第十九項 屠畜稅	第一目 屠畜稅
		第二項 漁業稅	第一目 漁業稅
		第二項 採藻稅	第一目 採藻稅
		第二項 日本形船稅	第一目 日本形船稅
		第三項 西洋形船稅	第一目 蒸氣船稅
			第二目 風帆船稅

第九項 前々年度地租割延納		第一目 増租割延納
第十項 前々年度營業稅延納		第一目 營業稅延納
第二項 前々年度雜種稅延納		第一目 雜種稅延納
第三項 前々年度戶數割延納		第一目 戶數割延納
第三項 賦金		第一目 貸座金數 第二目 娼妓賦金
第四項 還納金		第一目 學資返納金 第二目 過誤拂返金 第三目 訴訟費用 第四目 返納及紙代 第五目 賠償金
第五項 手数料		第一目 小學校教員檢定手数料 第二目 小學校教員免許狀手数料 第三目 益種檢査手数料
第六項 滯納處分費收入		第一目 益種檢査手数料

第三項 使用料		第一目 堤塘使用料 第二目 貸下木敷
第四項 授業料		第一目 師範學校收入 第二目 中學校收入
第五項 物品賣拂代		第一目 不用品 第二目 監獄製作品 第三目 並木損木 第四目 監會内損木 第五目 賣拂代物 第六目 賣拂代物 第七目 何々
第六項 工四錢收入		第一目 囚徒工錢
第七項 慈善用(物品)收入		第一目 慈善收入 第二目 慈善物品代
第八項 作業益金		第一目 監獄作業益金

臨時部

第一款 繰越金		第一項 繰前年度	第一目 督促令狀 手数料
		第二項 繰前々年度	第二目 公告費
			第三目 運搬費
			第四目 調査調製費
第二款 補助金庫		第一項 補助教育費	
		第二項 補助土木費	
		第三項 何々	
		第四項 何々	
第三款 寄附金		第一項 某費寄附金	第一目 某費ノ内某費 ニ對スル寄附

第四款 財産買拂代		第二項 某費寄附金	第二目 某費ノ内某費 ニ對スル寄附
		第一項 不動産收入	第一目 地所拂下代
		第二項 動産收入	第一目 滞納處分買上 物品買拂代
			第二目 何々

○縣稅歲出科目應費解疏ノ件  
訓令丁第八八號 (明治三十一年三月三十一日)

知事官房  
内務部  
警察部  
監獄署

縣稅歲出科目中應費解疏左ノ通相定ム  
但明治三十年度ヨリ施行ス

項	目	節	解
			椅子、腰掛、各種ノ机、簿記臺、簿記帳箱、文箱、長持戸棚、葛籠、帽子掛、傘立、時計、呼鈴、窓掛 <small>取外シモノ</small> ノ投票箱 各種ノ印章、印箱、狀

圖書及 印刷費	文具費	應費 備品費	箱、鍵箱、寫字及印刷器械 <small>附屬品</small> 、活字、板木、度量衡、裁臺、打盤、糊板、刷毛、製本道具、火鉢、鉢火臺、火箸、五徳、十能、灰篩、按火、箕盆、灰吹、炭取、鍋釜、土瓶茶碗、茶盆、納杓水桶手桶釣瓶、鹽、鏝、鉋、鋤、鋏、草取鎌、臥具、点火器、梯子、門札、室札、風呂敷、箒、塵取、草履、下駄、雪踏、靴拭、等ノ類
			製鋼用コンパス、烏口、定木、毛筆、墨、白墨、繪ノ具、繪具皿、ペン尖、製圖簿記複寫版用インキ、インキ壺、印肉、肉池、煉肉用素品留針等ノ類
	消耗品費		美濃紙、延紙、半紙、奉書、西ノ内、表紙、洋紙、各種ノ封袋、計算表、統計表、及鑑札用紙、薪、石灰、木炭、石油、種油器械用油、生石灰、石炭酸、生鉄、蠟燭、マッチ及附木、燈心及洋燈心、海綿石版複寫版及對版用素品、並藥品石鹼等ノ類
			官報、書籍及繪圖、新聞紙、規則書報告書年報切符ノ類印刷費等ノ類

雜費	戒具費	被服費	賄費	手數料	運搬費	通信	運送費	電信料	郵便稅	送金手數料	宿直賄料	夜業賄料	夜業員賄料	巡查者手押丁小使等ノ被服	手錠、連鎖、捕繩等ノ類	借家料、借地料、藏敷料、席料、器具器械及書籍等ノ借用料、訴訟費用、寫字料 <small>一枚當リテ以テ支拂フモノ</small> 、舟車馬備上料、新聞紙廣告料、簿冊綴賃、境界標建設費、門松飾費、飲用水費 <small>井戸主ニ手當トシテ支拂フモノノ類</small>
						宿直賄料	夜業賄料	宿直賄料	夜業員賄料	宿直賄料	夜業員賄料	宿直賄料	夜業員賄料	宿直賄料	夜業員賄料	宿直賄料



細、延、水引、釘、雜巾等ノ類

○縣立學校雇人給料支給規則ノ件

訓令丁第百十五號 (明治三十一年四月七日)

師範學校 尋常中學校 蠶業學校

雇人給料支給規則左ノ通相定ム

雇人給料支給規則

第一條 雇人給料毎月末日ニ支給ス但休日ニ當ルトキハ順次繰上ク

第二條 月給ヲ以テ雇入レタルモノ出勤全月ニ至ラサルトキハ日割ヲ以テ減給ス但職務ノ爲メ傷病ヲ受ケ欠勤シタルモノ及大祭祝日日曜日ハ此限リニアラス

在勤中死亡シタルトキハ其月分ノ全額ヲ給ス

第三條 日給ヲ以テ雇入レタルモノハ出勤日數ニ應ジテ支給ス

第四條 本則規定ノ外ハ職員給與ニ關スル規則ニ依ル

○縣立學校授業料取扱手續ノ件

訓令丁第百十三號 (明治三十一年四月七日)

師範學校 尋常中學校

授業料取扱手續左ノ通相定ム

授業料取扱手續

第一條 學校ニ於テハ第一號書式ノ徵收元帳ヲ備ヘ第二號書式ノ納付證ヲ生徒

ニ交付シ置キ収入ノ手續ヲ爲スヘ  
第二條 生徒ハ毎月納付證ニ現金ヲ添ヘ學校長ニ納付シ式ノ如ク領取並月日ノ記入割印ヲ得テ納付ノ義務ヲ了シタルモノトス  
第三條 前條ノ收入金ハ學校長ニ於テ其都度集計金ノ納證ヲ以テ縣稅雜收入取扱手續ニ依リ縣金庫ニ拂込ムヘシ

書式

第一號 (用紙美濃紙)

明治何年度

授業料各自徵收臺帳

何 學 校

四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	納人姓名
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	某

第二號 (用紙適宜)

第何號

何年生

何

某

右保證人

何郡何町(村)字何番地

明治何年度授業料納付證

一金壹圓

月額

右毎月十日限り本校ニ納付スヘシ

年月日.....(本人へ交付ノ年月日)

學校長氏

名印

四月分 一金壹圓 領収〇主任印 何月何日	同 五月分 一金壹圓 領収〇主任印 何月何日	以下同上
-------------------------------	------------------------------------	------

○縣立學校豫算下調書及證明書ノ件

訓令丁第一四三號 (明治三十一年四月十七日)

師範學校

尋常中學校

職業學校

其校歳入歳出ノ豫算下調書ハ各目節ノ金額ヲ調査シ其豫算ノ基ヲ所ナ詳記シテ取調書及參考書ヲ付シ六月二十日限リ差出スヘシ

○縣稅滯納處分表ノ件



營業稅 附加稅	戶數割	合計	備考													
			一 土地ハ段別家屋ハ棟數動産ハ品數ヲ記載スルモノトス													
			同													
			其三													
			稅目	督促	通信費	評價人看 守人又ハ 賣人給 料	差押物件ノ 運搬保管又 ハ賣却ニ要 スル諸費	公告費	訴訟ニ要 セシ諸費	計	地租割	營業稅	雜種稅	營業稅 附加稅	戶數割	合計
			納入額	手数料						損失額						

○縣立學校ニ施テ契約セントスル公告方ノ件

訓令丁第二號 (明治三十二年一月十八日) 縣立學校

福島縣會計規則第三十八條ニ依リ契約セントスル公告ハ本縣名ヲ以テシ學校長ニ於テ執行スヘシ

○縣稅滯納者物品買上取扱順序ノ件

縣訓令乙第十一號 (明治三十二年三月十日) 郡役所 市役所

但各新聞掲載ノ日數ハ二日以内トス  
明治二十九年(二月)福島縣訓令第五號縣稅滯納物品買上取扱順序左ノ通改正明治三十二年度ヨリ施行ス

縣稅滯納者物品買上取扱順序

- 第一條 縣稅滯納處分取扱心得第五條ニ依リ買上タル物品ハ第一號書式ノ臺帳ニ記入シ其物品ハ郡市長ニ於テ之ヲ保管スヘシ
- 第二條 保管ノ物品ハ三月分ヲ取纏メ第二號書式ニ依リ翌月五日限り知事ニ報告スヘシ
- 第三條 保管ノ物品ハ半ケ年度毎ニ第三號書式ノ豫定價格表ヲ添ヘ知事ノ許可ヲ得テ公賣ニ付スヘシ
- 但物品夥多ナルカ又ハ至急公賣ヲ要スルモノハ本條ノ限ニアラス
- 第四條 物品ヲ公賣スルニ當リ落札代價豫定價格ニ達セサルカ又ハ買受望人之





(乙書式)

明治何年度前半期(後半期)縣稅徵收交付金町村別位證書  
一金何程  
內譯

營業稅	雜種稅	戶數割	何々稅合	計交付金町村長氏名
何町長 某	何町長 某	何町長 某	何町長 某	何町長 某
合計	合計	合計	合計	合計
直接收入高	直接收入高	直接收入高	直接收入高	直接收入高

右之通候也

明治 年 月 日

何郡長 氏 名印

○市町村立小學校教員恩給基金收納取扱順序ノ件

縣訓令甲第二十八號 (明治三十二年四月二日)

郡市役所 町村役場

市町村立小學校教員恩給基金收納取扱順序左ノ通相定メ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス但明治二十八年(五月)訓令甲第十九號及明治三十年(六月)訓令第三十九號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

第一條 市町村立小學校教員恩給基金收納取扱順序

第十四條 第二項ノ市町村納付金整理ノ爲メ郡市長及町村長ニ於テ市町村立小

學校教員恩給基金一人別臺帳(第二號書式)ヲ備置クヘシ

第二條 郡市長及町村長ハ明治三十一年三月縣令第二十八號第二條第一項第二

ノ場合ニ於ケル教員俸給額ノ異動ハ郡市長及町村長ニ於テ直ニ臺帳ニ記入スヘシ

第三條 市町村長ハ明治三十一年三月縣令第二十八號第二條第一項第三第六第

七ノ場合ニ於テハ直ニ臺帳ニ記入町村長ハ其旨所轄郡長ヘ報告スヘシ

郡長ハ前項報告ヲ受ケタルトキハ直ニ臺帳ニ記入スヘシ

第四條 郡長ニ於テハ第一條一人別臺帳ニ依リ其月收入スヘキ毎町村ニ於ケル納付金額ヲ算定シ之ヲ徵收元帳(第二書式)ニ記入納期日(翌月十五日以内)ヲ定メ縣稅雜收入取扱手續ニ依リ納入告知書ヲ發付スヘシ

市長ニ於テハ第一條一人別臺帳ニ依リ其月納付スヘキ金額ヲ算定シ之ヲ徵收元帳(第二號書式)ニ記入其月分ヲ翌月五日迄ニ納付ノ手續ヲ爲スヘシ

第五條 町村長ニ於テ第四條第一項ニ依リ郡長ヨリ交付シタル納入告知書金額ニ認アルトキハ直ニ其旨申報シ之レカ訂正ヲ乞フヘシ

第六條 市町村納付金ハ市ニ在リテハ市長町村ニ在リテハ町村長各自ノ請求書ヲ以テ當該科目ヨリ仕拂ノ上縣金庫ヘ納付スヘシ

第七條 郡市長ハ福島縣會計規則第十六條ニ準シ毎月徵收濟報告書ヲ調製當廳ヘ送付スヘシ

第八條 郡市長ハ福島縣會計規則第三十六條ニ準シ收入濟精算報告書(第三號第四號ノ書式)ヲ調製翌年度四月三十日迄ニ當廳ヘ送付スヘシ

(第一號) 用紙美濃紙

明治何年度

市町村立小學校教員恩給基金一人別臺帳

何郡(市)役所(何郡(町)村)役場

本 月 給 額	年 功 加 給 額	計	事 由	在 學 校 地 所	學 校 名	教 員 氏 名
1000	0000	10000		何村 字何々		何 之 誰
1100	100	1200				
1500	2750	4250				
10000	7000	17000				

備考

- 一 新任轉任等ニシテ日割支給ヲ爲セシ場合ニ於テハ其支給スヘキ現日數並支給額納付額及算出ノ基礎トナルヘキ事項ヲ事由欄内ニ詳記スルモノトス
- 二 増減俸其他ノ事故ニ依リテ俸額ニ異動ヲ生シタルトキハ其旨事由欄内ニ詳記更ニ次欄ニ登記スルモノトス
- 三 市町村ニ於テハ様式中學校所在地名欄ヲ設クルト否トハ適宜タルヘシ

紙 表

恩給基金徵收元帳

何郡市役所

四部役所ニ在テハ精算書調製ノ便ヲ計ル爲メ俸給額ノ異ナル毎ニ口座ヲ設ケ調製スルト否ヲサルトハ適宜タルヘシ  
但本文ニ依ラズ單ニ每町村別ニ口座ヲ設ケ調製スルモ妨ケナシ  
(第二號書式) 用紙美濃紙

番 號	號 摘	要 點	納入告知 年月日	徵收期限 年月日	收入 年月日	金 額	納 入 人
第何號	何月	分	明治何年 何月何日	明治何年 何月何日	明治何年 何月何日	15000	何市町村 何之誰
第何號	何月	分	明治何年 何月何日	明治何年 何月何日	明治何年 何月何日	8500	何市町村 何之誰

(第三號書式) 用紙通常對紙

明治何年度市町村立小學校教員恩給基金收入精算報告書

一金貳拾九圓八拾貳錢九厘

但別紙仕譯書ニ對スル分

右明治何年度市町村立小學校教員恩給基金收入精算書面之通ニ候也

明治何年何月何日

知事 宛

郡市長 氏

名印



(第四號書式) 用紙通常野紙  
明治何年度教員恩給基金收入仕譯書

人員	月一俸額人	一ヶ年俸給支給額	百分ノ一ニ對スル金額	備考
一	七〇〇〇	四五二六六	〇四五三	六月十二日新任ニ付七圓ニ對スル六ヶ月ト日割十四日分
二	八〇〇〇	一九二〇〇	〇一九二	六月十二日九圓ニ昇給ニ付八圓ニ對スル二ヶ月ト日割十二日分
三	九〇〇〇	八六四〇〇	〇八六四	六月十二日月俸八圓ヨリ昇給ニ付九圓ニ對スル九ヶ月ト日割十八日分
四	一〇〇〇〇	四三三〇〇	四三三〇	
五	一三〇〇〇	七六〇〇〇	七六〇〇	
六	一五〇〇〇	一三六〇〇〇	一六二〇〇	
七	一五〇〇〇	一三六〇〇〇	一六二〇〇	
計	〇	〇	二九八二九	

右之通候也

明治何年何月何日

郡市長 氏

名印

備考

一 増俸減俸ニシテ前後俸給ナリ日割計算トシテ支給スル場合ニ於テ二人ト各二欄ヘ掲記其一方ニ於ケル人員ヲ朱記スルモノトス

車稅取扱手續ノ件

訓令甲第三十八號

(明治三十二年五月十八日)

郡役所

市役所

町村役場

車稅取扱手續左ノ通改正ス

但明治三十年(二月)訓令甲第八號ハ廢止ス

車稅取扱手續

第一條 郡市役所ニ於テ心得(心得トハ車取扱人心得ヲ云フ以下總テ同シ)第一條第五條ノ届書ヲ受ケタルトキハ客積ヲ測定シ檢印烙記ノ上課日課額ヲ算定シ之レヲ車臺帳ニ登記スヘシ

第二條 前條測定ノ方法ハ左ノ各項ニ依ル

- 一 人力車ハ横巾内法二尺未滿ヲ以テ一人乗トシ其以上ヲ以テ二人乗トス
- 二 荷積車ハ荷臺(全ク荷物ヲ積載スル場所)ノ縦横相乘シ尺積十四尺以上ヲ以テ大七八車以上ト爲シ其未滿ヲ以テ中小車(大六以下)トス

第三條 檢印烙記ノ箇所ハ馬車ハ乘臺若クハ荷臺人力車ハ蹴込ノ右方荷車ハ轆ノ右方トス

第四條 心得第二條及第四條ノ届書ヲ受ケタルトキハ直ニ臺帳ヘ登記シ其新舊甲乙所轄ヲ異ニスルトキハ轉入地ノ郡市役所ヘ通知(届書中特ニ賣買讓與セシ年月日記載シアルモノハ其年月日ヲモ付記)スヘシ  
轉入地ノ市役所ニ於テ前項后段ノ場合ニ於テハ特ニ轉出地ノ町村役場ヘ通知(届書中特ニ賣買讓與セシ年月日ヲ記載シアルモノハ其年月日ヲモ付記)スヘシ

第五條 郡市役所ニ於テ心得第五條及第八條ノ届書ヲ受ケタルトキハ本手續第一條ニ依リ更ニ捺印ヲ烙記臺帳ニ登記スヘシ

第六條 郡市役所ニ於テ心得第六條ノ届書ヲ受ケタルトキハ其事由ヲ記載臺帳ニ删除スヘシ但町村役場ニ於テハ本條届書進達ノ際臺帳ヲ除去スヘシ

第七條 郡市役所ニ於テ心得第十條ノ届書ヲ受ケタルトキハ其用途ヲ調査シ免稅ノ捺印ヲ烙記臺帳ニ登記スヘシ

第八條 心得第五條ニ依リ稅額ニ増差ヲ生シタル場合ハ當該期ヨリ其増差ニ係ル税金ヲ徴収スヘシ

第九條 郡役所ニ於テ本手續第一條第四條第五條及第七條ノ各手續ヲ了シタルトキハ其旨(捺印番號捺印烙記年月日車名容積其他臺帳登記上必要ノ事項)所轄町村役場ニ通知スヘシ

第十條 郡市役所ニ於テハ本手續第四條第一項末段ノ通知ヲ受ケタルトキハ臺帳ヲ除去スヘシ

町村役場ニ於テハ本手續第四條第二項及第九條ノ通知ヲ受ケタルトキハ臺帳ヲ除去スヘシ

第十一條 盜難挽逃等ノ事故ニ依リ所在ヲ失ヒタルモノハ臺帳ヲ删除シ別ニ帳簿ヲ製シ之レニ其要領ヲ摘記シ所在發見ノ届出ヲ受ケタルトキハ其事由ヲ照査シ更ニ臺帳ニ登記スヘシ

第十二條 違犯者處分ノ者アルトキハ其脱稅年間ニ係ル税金ハ相當科目ニ依リ追徴スヘシ

第十三條 臺帳及烙印離形左ノ如ク  
但免稅車臺帳様式モ本文離形ニ準テ調製スヘシ  
(用紙美濃紙)

<p>車 稅 臺 帳</p>	<p>何郡(市)役所(何町村役場)</p>
----------------------------	-----------------------

- 凡 例
- 一 本臺帳ハ各種目毎ニ調製スルモノトス  
但車輛ノ數僅少ナルトキハ一種目毎ニ口座ヲ設ケ調製スルモ妨ケナシ
  - 二 車名欄ニハ馬車一匹立、二匹立、二人乗人力車一人乗人力車荷積大中小車等種目毎ニ記入スルモノトス
  - 三 烙印番號欄ニハ新規ト再度トチ問ハス捺印烙記セシ番號ヲ順次記入スルモノトス
  - 四 烙印濟月日欄ニハ前項ニ依リ捺印烙記セシ年月日ヲ記入スルモノトス
  - 五 事由欄ニハ代替改氏名其他必要欠クヘカラサル事由ヲ詳記スルモノトス
  - 六 町村役場ニ於テハ時宜ニ依リ烙印番號烙印濟年月日ノ欄ニ記入ヲ省略スルモ妨ケナシ

車名	烙印番號	烙印濟年月日	住所	姓名	事由	年	度	年	稅	金
						期	前	稅	金	
						期	後	稅	金	

烙印辨形

第六以下  
 何郡  
 市役所

第七以上  
 何郡  
 市役所

何郡  
 市役所

免何郡  
 市役所

何郡  
 市役所

備考

一 人力身ニ烙記スヘキ檢印ハ單ニ何郡市役所トアル分ヲ使用スル者トス

○市町村立小學校教員恩給金收入年度ノ件

訓令甲第八號 (明治三十三年二月三日)

郡市役所 町村役場

明治三十二年四月訓令甲第二十八號市町村立小學校教員恩給基金収納取扱順序ニ依リ收入スル毎年度末月分ニ對スル納付金ハ翌年度へ收入整理スルコトヲ取扱フヘシ

○郡書記郡視學及雇旅費ノ件

訓令丙第五六號 (明治三十三年二月十日)

郡書記郡視學及雇旅費左ノ通定メ本年四月一日ヨリ施行ス

職名	郡			内			郡			外		
	一里ニ付	車馬賃一里ニ付	宿泊料一日ニ付	車馬賃一里ニ付	宿泊料一日ニ付	車馬賃一里ニ付	宿泊料一日ニ付	車馬賃一里ニ付	宿泊料一日ニ付	車馬賃一里ニ付	宿泊料一日ニ付	
郡書記	金參錢	金拾貳錢	金六拾錢	金四拾錢	金拾五錢	金八拾錢	金五拾錢	金參錢	金拾貳錢	金六拾錢	金四拾錢	
郡視學	金參錢	金拾貳錢	金六拾錢	金四拾錢	金拾五錢	金八拾錢	金五拾錢	金參錢	金拾貳錢	金六拾錢	金四拾錢	
雇	金參錢	金拾錢	金五拾錢	金參拾錢	金拾錢	金六拾錢	金參拾錢	金參錢	金拾錢	金五拾錢	金參拾錢	

○縣稅徵收令書金額増減申報ノ件  
訓令甲第十四號 (明治三十三年二月二十四日)

郡役所 町村役場  
明治三十三年四月一日以後町村長ニ於テ縣稅徵收令書金額ニ對シ増減ヲ生シタ  
ルトキハ該科目金額並其事由ヲ直ニ郡長ヘ申報スヘシ

○營業稅附加稅及所得稅附加稅賦課徵收手續ノ件  
訓令甲第十六號 (明治三十三年二月二十六日)

郡市役所 町村役場  
營業稅附加稅及所得稅附加稅賦課徵收手續左ノ通相定ム  
但明治三十年(四月)訓令甲第三一號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス  
營業稅附加稅及所得稅附加稅賦課徵收手續

第一條 郡ニ於ケル營業稅附加稅及所得稅ノ所轄稅務署ヨリ報告ヲ受ケタル各  
自ノ納ムヘキ營業稅及所得稅各種定額ニ依リ知事又ハ郡長ニ於テ之レカ賦課  
徵收ノ手續ヲ爲スヘシ

但確定額ノ異動報告ヲ受ケタルトキハ其時々之カ整理ヲ爲スヘシ  
第二條 市ニ於ケル營業稅附加稅及所得稅附加稅ハ本稅タル營業稅及所得稅各  
種稅令書金額ニ依リ知事又ハ市長ニ於テ直ニ賦課徵收ノ手續ヲ爲スヘシ

但本稅額ニ異動ヲ生シタルトキハ其時々之レカ整理ヲ爲スヘシ  
第三條 町村ハ縣出納吏ノ發シタル營業稅附加稅及所得稅附加稅各徵稅令書金  
額ニ依リ町村長ニ於テ徵收ノ手續ヲ爲スヘシ

但増減令書ノ發付ヲ受ケタルトキハ其時々之レカ整理ヲ爲スヘシ  
第四條 營業稅附加稅及所得稅附加稅徵稅臺帳ハ總テ營業稅雜種稅徵稅元帳ニ  
準シ之レヲ調製スヘシ

附 則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ施行ス  
○官報及新聞購入代前金拂ノ件  
訓令甲第十七號 (明治三十三年二月二十八日)

縣立學校 農事試驗場 測候所  
官報及新聞購入代ハ每一ヶ月分ヲ其前月下旬ニ於テ前金拂ヲ爲スコトニ取扱フ  
ヘシ  
但年度初月ハ其月初旬トス

○官報及新聞代支拂ノ件

訓令甲第十八號 (明治三十三年三月二日)

郡役所 警察部 警察署  
監獄署 警察分署 監獄支署

明治三十三年度以降官報及新聞代ハ毎三ヶ月分ヲ取束ネ其ノ終リノ月ニ於テ之レカ仕拂ヲ爲スヘシ

○縣立學校五圓未滿ノ急破修繕執行方ノ件

訓令乙第十四號 (明治三十三年四月二十七日)

縣立各學校

修繕費五圓未滿ニテ具申スレニ違ナキ修繕ニ限リ學校長ハ縣會計規則ニ據リ執行スルコトヲ得此場合ニ於テハ落成ノ上運滞ナク出來形精算書ヲ添ヘ報告スヘシ

○縣立學校不用物品賣却方ノ件

訓令甲第四十三號 (明治三十三年五月四日)

縣立學校

不用物品又ハ生産物中左記ノ物件ヲ賣却セントスルトキハ縣會計規則ニ依リ學校長ニ於テ賣却スルコトヲ得  
前項ニ依リ賣却シタルトキハ其都度品目、數量、價格(時價ニ比シ差異アルトキハ其理由)賣却日及賣却ノ方法(競入札ニ付シタルカ又ハ隨意契約ニ依リタルカノ類)ヲ報告スヘシ

一紙屑、反古紙、新聞紙及雜誌等

一糞尿、灰石油空罐、炭空俵、空罐及毀損シタル玻璃器等

一師範學校ニ於ケル農作物及製作品

○慈惠救濟基金寄附金徴收ノ件

訓令甲第六十六號 (明治三十三年七月十六日)

郡市役所

慈惠救濟基金ニ對スル寄附金ハ他寄附金ニ準テ徴收シ之レカ徴收濟報告書ヲ調製翌月十日限リ提出スヘシ

○安積中學校職員住宅借家料及修繕ニ關スル件

訓第一六一號 (明治三十三年八月一日)

第一中學校

其校附屬職員住宅ニ關シ左ノ通相定メ本年八月ヨリ施行ス

一借家料ハ左ノ如ク毎月之ヲ徴收スヘシ

校長住宅 金四圓五拾錢

教員住宅 各金貳圓

一職員住宅ノ修繕ハ凡テ縣稅ヲ以テ修繕ス但疊表替ハ一旦裏返シヲ爲シタルモノニシテ爾後一ヶ年以上ヲ經タルモノニアラサレハ之ヲ爲サズ裏返シハ新調若クハ表替ノ後一ヶ年以上ヲ經タルモノニアラサレハ之ヲ爲サ、ルヲ常例トス

○小學校教員檢定及免許手数料收入取扱順序ノ件

訓令甲第八十二號 (明治三十三年十月二十九日)

郡市役所 町村役場

小學校教員檢定及免許手数料收入取扱順序左ノ通相定ム

第一條 市町長ニ於テ手数料ノ納付ヲ受ケタルトキハ領收證ヲ製シ之ヲ交付ス

第二條 市長ニ於テ領シタル手数料ハ徵收簿ニ記入(書式適宜)雜收入受取手續ニ依リ取扱フヘシ

第三條 町村長ニ於テ領シタル手数料ハ檢定手数料ト免許手数料トナ區分シ其月分ヲ翌月五日迄ニ郡長ニ報告スヘシ

第四條 郡長ニ於テ前條報告ヲ受ケタルトキハ徵收簿ニ記入(書式適宜)雜收入取扱手續ニ依リ取扱フヘシ

附 則

第五條 本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

第六條 明治二十八年五月訓令甲第二十號ハ之ヲ廢止ス

○縣稅滯納處分費取扱手續ノ件

訓令甲第三號 (明治三十四年二月十三日)

郡 役 所

縣稅滯納處分費取扱手續左ノ通相定メ明治三十四年四月一日ヨリ施行ス

縣稅滯納處分費取扱手續

第一條 縣稅滯納處分ニ要スル費用ハ縣廳ヨリ直接ニ下付スルモノトス

第二條 滯納處分ニ要スル費用ハ滯納處分出張旅費督促令狀調製及送達費差押物件運搬並保管及賣却費物件買上費登錄稅トス

第三條 郡長ニ於テ滯納處分ノ爲メ出張ヲ命スルトキハ滯納町村人員及豫定日數ヲ記シ之レヲ命令ヲ發スヘシ

但命令簿ハ普通出張命令簿ト別冊又ハ口別ヲ爲シ調製スルモノトス

第四條 滯納處分出張ノ命令ヲ受ケタルモノハ出張月日滯納町村人員差押前納付人員差押人員撤損人員區分表ヲ調製シ之レニ出張命令ノ寫ヲ記入スヘシ

但出張日數ニテ豫定日數ヲ超過シタルトキハ本表ニ其事由ヲ記載シ郡長ノ檢印ヲ受クルモノトス

前項ノ區分表ハ旅費請求書ニ添付スヘシ

第五條 滯納處分ニ他ノ用務ヲ兼ネ又ハ他ノ用務ニ滯納處分ヲ兼ネ出張セシムルトキハ其旅費ハ普通郡役所經費ヨリ支出スヘシ

第六條 督促令狀調製及送達費物件賣却費ハ請求書ニ令狀枚數筆工料及送達數等其單價及算出ノ基ニ處テ詳記シ郡長之レニ檢印シ其月分翌月五日限リ請求スヘシ

第七條 差押物件運搬及保管費登錄稅ハ請求書ニ其費用ヲ要セシ理由ヲ付記シ請求スヘシ

第八條 物件買上費ヲ請求スルトキハ滯納者ノ稅目金額住所姓名物件名稱町村大字字番及數量價格等ヲ詳記シタル調書ヲ添付スヘシ

第九條 滯納處分ニ要ナル費用ハ郡役所經費ヨリ一時繰替拂チ爲スコトヲ得  
但繰替金ニシテ下付アリケルトキハ直ニ戻入レノ手續ヲ爲スモノトス

○縣稅徵收勵行ノ件

訓第二七號 (明治三十四年三月一日)

各 郡 長

縣稅徵收之義ハ規定ニヨリ取扱ハ勿論之處往々納期日ヲ無視シ其期日內ニ納稅  
セサルモノアルハ思フニ過去數年間規則ノ範圍內ニ於テ常ニ寬大ノ處置ヲ爲シ  
タルモノ延テ如斯怠慢ニ流レタル弊ナキニアラス依テ來ル三十四年度ヨリ滯納  
處分ニ要スル費用ハ別送交付ノ手續ヲ規定シタルハ要スルニ徵收細則第十條第  
十三條ヲ勵行セシムルニ外ナラス故ニ其納期日ヲ過クレハ決シテ町村役場ニ収  
入セシメヌ又町付役場ニ於テ納期日マデニ收入セシメ税金ハ納期后三日以内ニ納  
付セシメ若シ其納期日以外ニ涉リ納付セントスル町村之有場合ニ於テハ其理由  
ヲ取亂シ理由存スルモノハ納付セシメ其理由ノ存セサル者ニ對シテハ相當處置  
ノ上取納ノ手續ヲ爲ス等嚴重勵行セラルヘシ  
右訓令ス

○縣稅滯納處分費取扱請求手續ノ件

訓令甲第九號 (明治三十四年三月六日)

郡 役 所

縣稅滯納處分費取扱手續左ノ通相定メ明治三十四年四月一日ヨリ施行ス  
縣稅滯納處分費取扱請求手續

第一條 取扱手續第四條ノ旅費請求書及區分表ハ別紙第一號書式(甲)(乙)ニ依  
ルヘシ

旅費日誌ハ通常用フル處ノ書式其記載例ハ明治三十年十二月內國第一〇三八  
號內務部長通牒ニ依ルヘシ

旅費日誌ハ記載スル里程及流車哩ハ明治三十三年訓令甲第五十號及訓令乙第  
十三號里程及流車哩表ニ依ルヘシ

第二條 取扱手續第六條ノ請求書ハ別紙第二號ニ依ルヘシ

督促令狀用紙購入ハ其時々發付ニ要スル程度ヲ以テ入スヘシ

筆耕料ハ郡役所吏員ニ於テ處理シ兼ナル場合ニ之ヲ備役スヘシ

督促令狀送達費ハ之ヲ枚數又ハ人夫ヲ以テ送達スル等郡役所ノ便宜ニ依ルヘ  
シ

物件差押及賣却費ハ差押及賣却調書鑑定又ハ傭上人公告費等ニ要スル費用ト  
ス

第三條 取扱手續第七條ノ請求書ハ別紙第三號書式ニ依ルヘシ

第四條 取扱手續第八條ノ請求書ハ別紙第四號(甲)(乙)書式ニ依ルヘシ

第五條 取扱手續ニ依リ差出スヘキ請求書ハ其種類毎ニ調製スヘシ

第六條 前記書式ハ單一ニ例ヲ示スニ過キサルヲ以テ其事實ノ生ジタルトキハ  
之レニ倣フ者トス

第七條 前各條中取扱手續トアルハ明治三十四年二月訓令甲第三號縣稅滯納處  
分費取扱手續ヲ云フ

第一號書式(甲)

福島縣 一五七

第		號	
部	門	年度	款
項	目	借	方
日度	月	支	番號
任	出	年	月
日	日	日	日

內務部長 第五課長 檢査係 縣費係 主任  
 郡長檢印 贈求書  
 一金何程  
 內 金何程 日當何日分 泊料何泊分 宿馬賃何里分 車賃何哩分 旅費別紙日誌ノ通  
 是ハ何年度縣稅何期(何々)何稅滯納處分トシ  
 右御渡有之度候也  
 明治年月日 何郡書記 某印  
 福島縣知事宛

第一號書式(乙)

縣稅滯納處出表			
出帳月日	滯納處分	滯納人員	出張差押前 出納付人員
四月一日	甲 町	五	一
二日	乙 町	七	二
計 二日	一 町	二	三
			五
			四

備考  
 一出帳月日ハ甲乙町村同日又ハ隔日等ニ出張シタルトキハ「自何月何日至今何月何日」ト記入スルモ妨ケナシ  
 一差押財產引揚及公賣處分等ノ爲メ出張シタルモノ、如キハ本表ニ倣ヒ調製スルモノトス  
 一事實本表ニ記入シ難キモノ、生シクルトキハ摘要ノ欄ヲ設ケ記入スルモノトス

出張命令寫

郡長檢印 豫定出張日數超過理由

右何々ニ付(事由ヲ詳記ス)何日間超過致候也

年月日

何郡書記 某

印



第 號		第三號書式			
番號	年度	方借	目	項	款
支	月				
日	日	<p>右御渡有之度候也</p> <p>明治年月日</p> <p>何郡町村字番地</p> <p>何 某印</p> <p>(又ハ何郡長印)</p> <p>福島縣知事宛</p>			
仕	出				
年	年	<p>右御渡有之度候也</p> <p>明治年月日</p> <p>何郡町村字番地</p> <p>何 某印</p> <p>(又ハ何郡長印)</p> <p>福島縣知事宛</p>			
月	月	<p>右御渡有之度候也</p> <p>明治年月日</p> <p>何郡町村字番地</p> <p>何 某印</p> <p>(又ハ何郡長印)</p> <p>福島縣知事宛</p>			
日	日	<p>右御渡有之度候也</p> <p>明治年月日</p> <p>何郡町村字番地</p> <p>何 某印</p> <p>(又ハ何郡長印)</p> <p>福島縣知事宛</p>			

第 號		第二號書式			
番號	年度	方借	目	項	款
支	月				
日	日	<p>右御渡有之度候也</p> <p>明治年月日</p> <p>何郡町村番地</p> <p>何 某印</p> <p>福島縣知事宛</p>			
仕	出				
年	年	<p>右御渡有之度候也</p> <p>明治年月日</p> <p>何郡町村番地</p> <p>何 某印</p> <p>福島縣知事宛</p>			
月	月	<p>右御渡有之度候也</p> <p>明治年月日</p> <p>何郡町村番地</p> <p>何 某印</p> <p>福島縣知事宛</p>			
日	日	<p>右御渡有之度候也</p> <p>明治年月日</p> <p>何郡町村番地</p> <p>何 某印</p> <p>福島縣知事宛</p>			

第四號書式(甲)

福島縣 一五七

第		號	
部	門	年度	款
目	項	借	方
支	出	任	日
番	號	年	月
日	度	支	支

內務部長 第五課長 検査係 縣費係 主任

請求書

一金何程

是ハ何年度縣稅何期(何々)何様滞納物件買上費別紙調書ノ通

右御渡有之度候也

明治年月日 何郡 長印

福島縣知事宛

第四號書式(乙)

滞納差押物件買上調書

滞納税目	滞納金員	物件名	數	買上月日	買上價格	事由	住所	姓名
地租割	一五〇	笹筒		二年月日	一五〇〇	何々何々	何郡何村	何某
滞納税目	滞納金員	物件名	數	買上月日	買上價格	事由	住所	姓名
戸數割	二〇〇	何村		田五	步年月日	二〇〇	何々何々	何某

○狩獵法ニ依ル免許者通報ノ件

訓令甲第十七號 (明治三十年三月二十四日)

郡市役所 警察署 警察分署

狩獵法ニ依リ免許ヲ與ヒタル當該官署ハ其住所 氏名 等級 種別ヲ所轄郡市役所ニ通報スヘシ

但既ニ許可濟ノ分ハ本年四月一日現在ヲ調査シ同月五日迄ニ本文ノ通取計ヲ

○縣稅雜種稅狩獵稅法人建築物稅臺帳ノ件  
訓令甲第二十六號 (明治三十四年四月十八日)

縣稅雜種稅中鑛業稅狩獵稅法人建築物稅課目臺帳樣式ノ左通相定ム  
郡市役所 町村役場

自明治何年度  
縣稅  
鑛業(狩獵)人名臺帳

何郡(市)役所  
何町(村)役場

許可及異動又ハ 營業年月日	課目	種目	等級又ハ 本稅額	摘要	住所氏名
明治何年何月何日 許	鑛業	鑛業	金千五百圓		何府縣(管内免許者) 何郡(市)何町(村)大字 番地(又ハ何々鐵會社 長)
明治何年何月何日 特		鑛區	金參百圓		何府縣(管内免許者) 何郡(市)何町(村)大字 番地(又ハ何々鐵會社 長)
明治何年何月何日 免	狩獵	乙種一 等			何府縣(管内免許者) 何郡(市)何町(村)大字 番地(又ハ寄留)
明治何年何月何日 免		甲種一 等			何府縣(管内免許者) 何郡(市)何町(村)大字 番地(又ハ寄留)

自明治何年度  
縣稅

私法人建築物臺帳

何郡(市)役所  
何町(村)役場

設立變更及解散 年月日	課目	等級及坪數	摘要	住所氏名
	法人建物	一 等 工 務 所 坪 二 等 工 務 所 坪 三 等 工 務 所 坪 四 等 土 造 場 坪 五 等 土 造 場 坪 六 等 貨 物 保 管 場 坪 七 等 雜 建 物 坪		何郡(市)何町(村)大字 番地(又ハ株式會社何 銀行) (頭取) 何 某

○縣稅雜種稅中蒸氣使用者其他臺帳樣式ノ件  
訓令甲第二十七號 (明治三十四年四月十八日)

縣稅雜種稅中蒸氣使用車稅電氣使用車稅劇場稅乘馬稅ノ各課目舊帳樣式ハ明治  
郡市役所 町村役場

三十年(五月)訓令甲第三十一號年稅ノ書式ヲ適用ス

○縣稅興業稅假納ノ件

訓令甲第二十八號 (明治三十四年四月二十五日)

郡市役所 町村役場

縣稅ニ係ル興業稅ハ明治二十六年(十二月)福島縣令第九十一號演藝場及遊覽場取締規則第九條ノ屆書ニ市町村長連署ヲ爲ストキハ之ヲ假納セムヘシ

○領ケ金抵當品ノ件

訓令第一六〇號 (明治三十四年九月十四日)

福島縣金庫

領ケ金抵當公債證書及有價證券價格自今左ノ通り改正ス

金錄公債證書 額面百圓ニ付八拾五圓

起業公債證書 同

海軍同 同

整理同 同

中山鐵道同 同

鐵道補充公債證書 額面百圓ニ付八拾五圓

軍事同 同

大日本政府五分利付同 同

新同 額面百圓ニ付七拾圓

舊同 實額高四分ノ一

日本銀行ノ擔保品ニ撰定セラレタル有價證券額面高及拂込高之通

○授業料滯納處分囑托ノ件

訓令甲第五十六號 (明治三十四年十一月十日)

郡市役所

師範學校

縣立中學校

縣立學校長ハ授業料滯納者ニ對スル滯納處分ヲ郡市長ニ囑托スルコトヲ得

其縣外ニ在ル者ニ對シテハ學校所在地郡市長ニ囑托シ郡長ハ更ニ北海道廳支廳長

及府縣ノ郡市長(東京市ニ限り區長)ニ囑托スルコトヲ得

○經費支出科目解疏改正ノ件

訓令丙第三八二號 (明治三十四年十二月四日)

郡役所

明治三十一年三月訓令丙第一九二號郡役所經費支出科目解疏別紙ノ通り改正シ

明治三十五年度ヨリ施行ス

郡役所經費支出科目解疏	
項	目
解	疏
卓子、机、簿記臺、卓子掛、椅子、腰掛、帽子掛、名札掛、本箱、筆筒、文書箱、印箱、鍵箱、戸棚、書棚、文具臺、狀箱、長持、鈴鐸、時計、權衡、活字狹、輕便印	

應費	備品費	文具費	消耗品費	圖書及印刷費	通信運搬費	手数料
刷器機、投書函、印章 <small>（印官職類）</small> 、對版、燒印、打込印、煙草盆、火鉢、火鉢臺、火箸、十能、行火、五徳、炭箱、提灯、提灯臺、ランプ、臥具、盆、鐵瓶、藥罐、鍋、水瓶、桶盤、靴拭 <small>（靴拭ノ分）</small> 、下駄棚、櫛子、製本道具、鍬、鎌、斧、塵取、踏臺、風呂敷、ノ類	文鏡、コンパス、烏口、定木、尺度、筆、墨、白墨、ペン先、インキ、インキ壺ノ類 <small>（明治三十一年六月訓令丙第百〇九號特別文具ノ規定ニ依ル）</small>	半紙、大判紙、美濃紙、表紙、西ノ内、漉返紙、奉書、西洋紙、封皮、辭令用紙、書學用紙、色紙、炭、薪、石炭油、蠟燭、生炭、燈心、ランプホヤ、附木、マツチ、印肉、肉池、煉肉用素品、印刷及對版用素品、印刷 <small>（筆寫ノ）</small> 、活字、土瓶、茶碗、柄杓、釣瓶、籠、靴拭 <small>（靴拭ヲ除ク）</small> 、刷毛、砥石、箒、木札、糊板、草履、生石灰、石炭酸、糸、繩、釘、新聞紙ノ類	（圖書費）官報、書籍、圖書ノ類 （印刷費）簿記帳、仕拂命令、納入告知書、計算書、用紙印刷ノ類	（運送費）公文書送遞、物品運送、物品運送ニ要スル素品及荷造賃ノ類	送金手数料	

**雜費** 寫字料、訴訟費、借家料、借地料、諸損料、郡界標建設費、簿冊綴賃、飲料水費ノ類

一、本書ハ支出ノ費途明カナニサル科目ニ限リ掲載シタルモノトス  
 一、常用ノモノニアラズニテ特ニ要スル物品購入ノ必要アルトキハ豫メ稟申請可キ受クヘキモノトス

○船舶ニ對シ縣稅賦課ノ件

縣告示第七十八號（明治三十年四月六日）  
 山口縣管内ニ定點場ヲ定ムル船舶ニ對シテハ其所有ノ縣内住民タルト否トテ問ハス繼テ縣稅賦課スヘキ旨通知アリタリ

○農工銀行株式引受資金管理規則ノ件

縣告示第三百三十二號（明治三十一年四月十日）  
 農工銀行株式引受資金管理規則第一回臨時縣會ノ議決ヲ經左ノ通定メタリ

農工銀行株式引受資金管理規則

第一條 農工銀行補助法ニ依リ政府、交付スル農工銀行株式引受資金貳拾八萬貳千九百貳拾圓ハ縣特別會計トシテ之ヲ管理スルモノトス

第二條 資金ハ株式會社福島縣農工銀行ノ株式引受ニ供スルモノトス

○縣經濟ニ屬スル現金保管及出納ニ關スル方法ノ件

告示第三百三十四號（明治三十一年四月十日）  
 縣經濟ニ屬スル現金保管及出納ニ關スル方法第一回臨時縣會ノ議決ヲ經左ノ通

リ定メタリ

縣經濟ニ屬スル現金保管及出納ニ關スル方法

第一條 縣經濟ニ屬スル現金ノ保管出納ヲナスヘキ縣金庫ノ事務ヲ本方法ニ依リ知事ニ於テ確實ナル銀行ニ命令シ之ヲ取扱ハシムルモノトス

第二條 現金ノ保管出納ヲ取扱フ爲メ福島町ニ縣本金庫ヲ設ケ各郡役所所在地ニ縣支庫ヲ設ケシムルモノトス

第三條 保管金ハ他ニ融通運轉スルコトヲ許サス

第四條 盜難又ハ水火風震等ノ災ニ罹リ預ケ金又ハ爲換金等ヲ紛失スルコトアルモ總テ其銀行ノ負擔トス

但非常ノ變災ニシテ防禦スヘカラサル證アレトキハ縣參事會ノ決議ヲ以テ特別ノ處分ヲ爲スコトアルヘシ

第五條 銀行ハ擔保トシテ保管現金同額以上ノ國債證書又ハ府縣債證書若クハ信用アル有價證券ヲ知事ニ差出スヘシ

但有價證券ハ日本銀行ノ擔保品ニ撰定セラレタル種類ニ限り其價格ハ各其時價ヨリ二割ヲ減シタルモノヲ以テ算定ス

第六條 銀行事務取扱ノ手當トシテ相當ノ給料ヲ給與スルモノトス其給料額ハ毎年豫算ヲ以テ之ヲ定ム

○縣會議長副議長議員及名譽職參事會員給與規程ニ關スル件

縣告示第六十號 (明治三十三年二月十日)

明治三十一年本縣告示第三百三十一號縣會議員及名譽職參事會員給與規程第二回通常縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得左ノ通改正ス

縣會議長副議長議員及名譽職參事會員給與規程

第一條 縣會議長副議長議員ノ費用辨償額ヲ定ムル左ノ如シ

縣會議長 一ヶ月金百五十圓

同副議長 同 金百貳拾圓

同議員 同 金百圓

第二條 名譽職參事會員ノ費用辨償額ハ一ヶ月金三十圓トス

第三條 第一條ノ費用辨償額ハ毎年四月ヨリ翌年三月ニ至ル十二ヶ月ヲ以テ一年トシ計算ス

第四條 第一條ノ費用辨償額ハ通常縣會閉會後之ヲ支給ス

第五條 名譽職參事會員ノ費用辨償額ハ其月初度ノ參事會開會ノトキ之ヲ支給ス(但一ヶ月中ニ參事會ノ開會ナキトキハ翌月分ト同時ニ之ヲ支給ス)

第六條 費用辨償額ハ當選就職ノ翌月ヨリ之ヲ支給ス但其月ノ會議ニ出席シタルトキハ其當月分ヨリ支給ス

第七條 議長副議長議員名譽職參事會員失職退職辭職死亡ノ場合ニ於テハ其當月分マテヲ支給ス

第八條 名譽職參事會員ニハ議員タルノ費用辨償額ヲ支給セス

第九條 議長副議長議員其年縣會ノ召集ニ應セサルトキハ名譽職參事會員其月ノ會議ニ出席セサルトキハ費用辨償額ヲ支給セス但忌引中ハ此限ニアラス

第十條 費用辨償額ノ支給ニ就テハ日割計算ノ法ヲ用井ス  
第十一條 議長副議長議員各譽職參事會員ノ旅費ハ別表定ムル所ニ從ヒ之ヲ支給ス

第十二條 旅費ハ當選區ノ何地タルヲ問ハス其住居地ヨリ直路里程ヲ計算シテ之ヲ支給ス

第十三條 前條ノ外旅費支給ニ關スル方法ハ內國旅費規則ニ準據ス

旅費表

日	當車馬賃	一里	瀛車賃	一哩ニ付
貳圓五拾錢	貳拾錢		五	錢

○教育資金管理規則ノ件

告示第七十一號 (明治三十四年二月十五日)

福島縣教育資金管理規則第三回通常縣會ノ議決ヲ經左ノ通定メタリ

福島縣教育資金管理規則

第一條 教育資金ハ相當ノ利子ヲ附セシメ確實ナル銀行ニ預ケ置クモノトス  
前項ニ依リ預ケ入レテ爲ストキハ縣經濟ニ屬スル現金保管及出納ニ關スル方法第五條ニ依リ擔保ヲ提供セシム

第二條 教育資金ノ出納ハ縣稅出納ノ例ニ依ル

○慈惠救濟基金補充方法ノ件

縣告示第七十七號 (明治三十四年二月十六日)

慈惠救濟基金補充方法第三回通常縣會ノ議決ヲ經左ノ通定メタリ

慈惠救濟基金補充方法

第一條 慈惠救濟基金ハ拾方圓ニ達スルヲ目的トシ明治三十四年度以降毎年五千圓ヲ經費ヨリ補充スルモノトス

○縣稅滯納處分囑托ノ件

縣第五二九號 (明治二十八年三月十四日)

本縣知事ヨリ各府縣知事ヘ通牒 (北海道總督府轉テ除ク)

縣稅滯納處分ニ關シ囑托書添付御照會ノ節ハ其都度所轄郡長ヨリ報告セシメ及御回答來候處爾今之ヲ省略シ處分ノ結果ハ受托郡長ヨリ直チニ囑托郡長ヘ回報セシムルニ止候條右御了承相成度此段豫テ及御通牒候也

○船車買受讓受通知ノ件

縣第六一五八號 (明治卅年三月三日)

(各府縣ヘ通牒)

本縣下人民ニシテ他管ヨリ船車ヲ買受若クハ讓受タル旨届出アリタル其轄郡市役所ヨリ元所屬郡市役所ヘ通牒方ニ關シ往々他府縣ヨリ依頼ノ向モ有之候ニ付今般前陳ノ場合ニハ必ス元所屬郡市役所ヘ通知可致旨管下各郡役所ヘ訓令致置候間御承知相成度此段豫メ及通牒候也

○營業稅附加稅賦課ノ件

縣第一三〇號 (明治三十年四月二十九日)

(本縣知事ヨリ郡山稅務管理局長宛照會)

營業稅附加稅ノ賦課ニ關シ必要有之ニ付營業稅賦課ノ都度納稅人ノ町村字氏名税金等ヲ各稅務署ヨリ所轄郡役所ヘ報告相成度此段豫メ及御照會置候也但報告ノ后異動ナ生メタルハ其時々御通報有之度此段申添候也

○縣稅滯納處分囑托ノ件

縣第三〇一五號 (明治三十年十月七日)

(本縣知事ヨリ北海道廳長官外各府縣知事ヘ通牒)

縣稅滯納處分囑托ニ關スル件本年(七月)內務省令第二十二號ヲ以テ定メラレ候處今般縣治局長ヨリ通牒ノ次第モ有之候ニ付廳(府縣)郡市長ニ對シ右滯納處分ノ囑托ヲ爲サントスル時ハ囑托郡市長ヨリ受托郡市長ヘ直接照會セシメ候條右様其向ヘ御示壇置相成度此段及御通牒候也

(參考)

第九條 出納吏ノ收入管轄地外ニ於テ滯納處分ヲナスコトヲ要スル場合ハ滯納者ニ對シ直ニ督促令狀ヲ發スヘシ

前項督促令狀ヲ發スルモ尙ホ完納セサルニヨリ財產差押ヲ要スル場合ハ管轄地ノ府縣出納吏ニ宛テタル囑托書ヲ添ヘ其旨申出ツヘシ

但管轄地本縣内ナルハ直ニ囑托スヘシ





